

令和 7 年度・第 3 回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和 7 年 9 月 18 日(木曜日)
2. 開催場所 弊社事務局
3. 委員出席 委員総数 5 名、出席委員数 5 名 欠席委員数 0 名
 - (1) 出席委員の氏名 佐々木清、得上成子、松原千尋、山口隆志、中村真弓
 - (2) 欠席委員の氏名
 - (3) 放送事業者側出席者名 放送事業者 越野 操

4. 議題及び議事の概要、審議内容

はじめに 放送事業者より挨拶。放送担当者より放送番組審議機関に関する説明

第 1 号議案 番組について

- (1) 審議番組「イブニングライブハッピー868 火曜」について意見交換
- (2) その他事項

5. 審議機関の答申または意見に対してとった措置の内容

(1) 審議事項

(放送担当より)

今回の番組は「イブニングライブハッピー868 火曜」です。毎週火曜 16 時から 19 時まで生放送中です。皆様のご意見をどうぞよろしくお願ひいたします。

(番審委員より)

BGM の音量バランスも良好で、パーソナリティのまつたりとした雰囲気作りが心地よい時間を提供している。「靴」という一つのテーマで 3 時間の放送を構成し、リスナーを飽きさせず、次にどんな曲がかかるかという期待感があった。

(番審委員より)

3 時間は、普段ラジオを長時間聴かない人には長すぎると感じられる可能性がある。優しく綺麗な声で全体的に聞きやすい。放送開始当初は甘ったるい話し方がきになったが、途中から自然なトーンになったとの意見があった。自身の話したいテーマではセンテンスを短く区切る一方、情報伝達時は長いセンテンスで話すなど、状況に応じた使い分けが見られた。

(番審委員より)

丁寧な取材により、単なる告知に留まらず、リスナーが「行ってみよう」と感じる魅力的な内容になっていた。ゲ吉川ジャズナイト実行委員に対し、順を追って丁寧に質問し、要点を復唱・総括するなど、非常に手慣れている。一步踏み込んだ質問で話の深みを引き出し、イベントの情景が目に浮かぶような内容にしていた

(番審委員より)

小学校や公民館の具体的な名称を挙げ、「草加公園のこっち側」といった表現も交え、土地勘のあるリスナーに非常に分かりやすく有益な情報提供だった。

(番審委員より)

「越谷技博」のイベントについて、説明が分かりにくかった。パーソナリティの個人的意見と情報伝達が混ざり、初めて知る人には聞き取りにくい可能性が懸念された。

令和 7 年度	株式会社エフエムこしがや	CFM	第 3 回番審
---------	--------------	-----	---------

(放送担当より)

貴重なご意見ありがとうございました。

(2) その他事項

(放送担当より)

現在放送中の番組編成について、担当者から説明。審議委員の皆様から、ご意見をよろしくお願ひいたします。

(番審委員より)

イベント告知だけでなく、準備段階から取材するドキュメンタリー形式の番組制作は、リスナーの共感を呼び、魅力をより効果的に伝えられる可能性がある。

(番審委員より)

地域が5市1町だが、越谷が偏りがちで、他の市の情報取得がパーソナリティ任せになっている。また、特定の曜日に情報が集中すると、その曜日を聴けないリスナーは情報を得られない。

(番審委員より)

各市のイベント情報を体系的に収集し、局内で特集企画を戦略的に割り振る仕組みを構築する。市民主体の活動の中から、将来性のあるものやユニークなものを見出し、育成する視点での番組企画を検討する。

(番審委員より)

地域の集まりでこしがやエフエムの話をする。まだ周知されてないので頑張ってほしい。

(放送担当より)

大変貴重なご意見ありがとうございました。

次回は 令和7年 11月20日(木) 10:00~

次々回は 令和8年 1月15日(木) 10:00~

上記の通りご予定ください。

6. 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 放送事業者が行う放送(放送番組審議会が、必要とした場合に限る。)

当該事項を記載した書面の放送事業者の本社への備置き

放送事業者の電子公告(<https://koshigayafm.co.jp/>)で行なう。

公表の内容 上記1.3の人数及び4から6までの事項

公表年月日 令和7年10月1日

7. その他参考事項

特に無し